

中国を見て・感じて・探る…大連事務所発のレポート

大連市のホームページに、中国らしくない記事が…
今回は、この裏事情について探ってみました。

大連市政府 HP より

大連市沙河口区政府は資金を出して 大学生の創業を支持

最近、沙河口区就業資金審査組は討論を通じて、今年の審議に通った24の大学生創業プロジェクトに創業資金90万元を無償提供する。同時に、大学生の創業コストを更に減少させ、今年区政府は20万元を投資して区大学生創業パークで創業する大学生の家賃の50%を補助する。沙河口区は2005年大学生の無償創業資金を出した以来、3年間合計して269万元の創業資金を無償提供し、65の大学生創業プロジェクトを支持し、企業の登録資金は1600万元に達し、販売収入約1100万元を実現し、20万元の税金収入を創出し、500人の大学生と失業人員を率いて自主創業の道へ歩んでいる。

中国でも不景気の波を一番かぶっているのが大学の新卒者です。今年夏には、一般大学卒だけで611万人という空前の数の就職予備軍が労働市場に登場。昨年夏の卒業生の多くがまだ就職できておらず、人力資源社会保障部(厚生労働省に相当)によると、今年は合わせて700万人の大学卒を含む2400万人が働き口を求めて狭き門に殺到することになるとのことです。従来なら比較的楽に就職できた名門大学や土木建築学科など理系の学生も苦戦しているそうです。

就職できない大学生のために大連市政府も企業支援の補助金を出す施策をとらざるを得なかったようで、ベンチャービジネスを支援する施策は、考えてみれば資本主

義国家がやりそうなこと。共産主義の中国で行われるのは非常に珍しく、大学生の就職難については、人口が多い分だけ、日本よりも深刻な状況かもしれません。

大学生の整形が急増 就職難が深刻になっている中国で、厳しい就職活動を勝ち抜く可能性を少しでも高めようと、美容整形を行う大学生が増えている。そうした中、何とか就職活動を勝ち抜こうと学生たちは知恵を絞っているが、書類審査や面接で少しでも良い印象が与えられるようにと、美容整形を行う大学生が増えている。

メイド志望の大学生が急増 多数の大卒生が富裕層の家でメイドとして働いている。広東省家庭サービス業協会によれば、昨年8月以降、メイドの人材募集には毎月平均500～600人が応募してくるが、そのうち90%以上が大学生で、修士課程の学生も28人いたという。現在、メイドの月給は2000～7000元(約2万7000円～9万5000円)で、就職活動が芳しくない大学生にとって魅力的なものになっているが、需要に限りがあるためここでも激しい就職戦線が展開されている。2000人余りの希望学生のうち、実際にメイドとして雇われたのはわずか300人程度。高い教養を持つ大学生は、能力は高いものの精神的な柔軟性に欠けることなどから、メイドになってもすぐに退職する割合が80%と高いのだと話している。